

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	0404	商店街賑わいづくり事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-3	商業の振興			
	施策	2	商店街の再生			
目的	商店街の賑わいづくり支援					
対象	事業者、商店街団体					
意図	商店街等のイベントや未利用店舗活用の事業者					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 各種団体補助金・負担金 ・花巻商工会議所補助金 ・まちの駅連絡協議会会費 ・岩手県中小企業団体中央会補助金 <input type="checkbox"/> 商店街活性化イベント事業補助金 商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業に対する支援 <input type="checkbox"/> 市民ふれあい広場運営事業 商店街（一日市商店街、大迫町商店街、東和町商店街）の利便施設の設置・管理運営 <input type="checkbox"/> 中心市街地新規出店者経営支援事業 <input type="checkbox"/> まちなか創業支援事業						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	商店街活性化イベント実施件数	件	計画	12	12	
			実績	12	14	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	商店街活性化イベント来街者数	人	目標	90,000	90,000	
			実績	91,082	91,058	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
商店街団体が実施主体となり商店街活性化イベントを継続して開催していることでイベントが認知され、目標を超える来街者となっている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	郊外大型店出店により市全体の買い物利便性が向上する反面、既存商店街の競争力、商業機能は低下しており、個店の商業力の強化や、中心商店街の賑わいづくりが必要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	商店街の組織力、未利用店舗オーナーの意識改革、経営力向上などにより、事業効果の向上余地はあると考えられる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	補助金は事業対象経費の2分1とし、現行以上に削減することは、事業実施の意欲の低下に繋がるため、削減余地なし。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	中心市街地を対象とした以外には、受益機会は公平であり、事業者や団体等の自己負担も一定程度必要であり、適正である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
昨年度は、効果的なイベントの実施を図るため、商店街活性化イベント補助金の活用調査を行い、イベント内容の見直しやイベントをきっかけにした商店街の新たな誘客のしくみを行うイベントに対し、新規で2件のイベントに補助を行った。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 藤原啓昭 内線 398

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	0404	商店街賑わいづくり事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		45,768	45,085		△ 683
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他		1,000		1,000
	一般財源	45,768	44,085		△ 1,683

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯

中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街団体が実施するイベントや商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業等を支援するとともに、商店街における利便施設運営、まちなかで新たに創業する事業主・後継者等への支援を行うことにより、中心市街地の賑

事業概要

- 各種団体補助金・負担金
 - ・花巻商工会議所補助金
 - ・まちなか駅連絡協議会会費
 - ・岩手県中小企業団体中央会補助金
- 商店街活性化イベント事業補助金
商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業に対する支援
- 市民ふれあい広場運営事業
商店街（一日市商店街、大迫町商店街、東和町商店街）の利便施設の設置・管理運営
- 中心市街地新規出店者経営支援事業
- まちなか創業支援事業

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

商店街における高齢化・担い手不足は深刻な状況にあり、商店街団体の会員の減もあり、これまで開催しているイベントを継続するのも難しくなっている。

また、商店街の未利用店舗も増えており、未利用店舗を活用した新規出店者の掘り起こしが必要。

個店がしっかりしていないと、商店街の活性化は出来ない。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■各種団体補助金・負担金 36,454千円

- 花巻商工会議所補助金 32,888千円
市内中小企業者の経営指導や部会活動費、調査広報費、イベント費用などを支援。
- まちなか駅連絡協議会会費 60千円
まちなか駅いしどりや酒造交流館がまちなか駅として認定され、協議会に加入している。同協議会は、まちなか駅に取り組んでいる市町村・団体のネットワークであり、まちなか駅情報の共同発信、イベント・シンポジウム、特産品紹介・斡旋、研修事業などを実施。
- 岩手県中小企業団体中央会補助金 3,506千円
中小企業の組織強化、経営向上のための経営指導などを行う。

■商店街活性化イベント補助金 4,816千円

商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業を補助する。

【現行】 ※下線部分がH26から新規で追加となったもの（増要因）

補助率：対象経費の1/2
上限額：500千円（2イベント以上の場合上限1,000千円、1実行委員会当たりイベント数に関わらず上限1,000千円）

事業主体：商店街振興組合等

【見直し検討】 ※下線部分がH27から新規で追加となる予定のもの。
商店街振興組合以外のNPO、市民グループ等が事業主体として加わることにより、自らが街なかを元気にしようとする市民の広がりが期待され、街なかの活性化が期待される。

補助率：現行と同様
上限額：現行と同様
事業主体：NPO、市民グループ等、中心市街地内でイベントを行う団体（追加）
予算：既存分、商店街振興組合等） 5,000千円（H26から補助率増、H26予算執行ギリギリ）

■市民ふれあい広場運営事業 1,519千円

商店街の利便施設として運営し、物件費のみ市が負担。管理は地元へ無償委託する。
・一日市商店街（一日市商店街振興組合） 796千円
・大迫町商店街（おおはさま共通商品券協同組合） 221千円
・東和町商店街（東和町土澤商店街商店会連絡会） 502千円

■中心市街地新規出店者経営支援事業 1,296千円

H26で新規採択終了。H27以降は、H26採択案件への家賃補助・経営指導を実施。
・継続分家賃補助 1,258千円（補助件数：7件）
・継続分経営指導 38千円（指導件数：3件）

■商店街賑わいづくり事業補助金（大迫）1,000千円

賑わいづくり団体（早池峰一座）に対する支援